

万倉地区の世帯数・人口
世帯数 572戸(+2)
人口 1,087人(+2)
男 520人(±0)
女 567人(+2)
(令和8年3月末日現在)

なすの花



題字 本田 唯佐氏

発行日 令和8年5月1日
 発行 万倉地区
 コミュニティ推進協議会
 連絡先 万倉ふれあいセンター
 電話 67-0201
 FAX 67-0312



行事予定表

5月

11	月	9:30	まちづくりサークル	万倉ふれあいセンター
15	金	9:30	行政・人権相談	万倉ふれあいセンター
19	火	18:30	ふれあい運動推進委員会定例会	万倉ふれあいセンター
中旬		18:30	子ども委員会定例会	万倉ふれあいセンター
24	日	8:30	参観日(親子新体力テスト)	万倉小学校
28	木	19:00	万倉地区コミュニティ推進協議会総会	万倉ふれあいセンター

6月

上旬		13:30	子ども委員会「米作り教室」田植え	宮尾
5	金	18:30	人権定例会	万倉ふれあいセンター
8	月	9:30	まちづくりサークル	万倉ふれあいセンター
30	火	8:30	参観日	万倉小学校

ふれあいセンター定例団体のご紹介

【やさしいヨガ教室】

ヨガインストラクター 山縣 イミ子

毎月：第2・4火曜日 10時～11時
 月謝 1,500円

心と体をやさしく整えるヨガ教室です。
 ゆっくりとした呼吸に合わせて、無理のない動きで体をほぐし、日頃の疲れや緊張をやわらげていきます。

初心者の方や体力に自信のない方、久しぶりに体を動かす方も安心してご参加いただけます。

呼吸と共にポーズをとることで体のなかに新鮮な空気を取り入れ、心も体も軽くなります。そして心地よい時間の中でリラックスしましょう。

お気軽にいらして下さい。
 ご参加お待ちしております。



お問合せ：万倉ふれあいセンター ☎ 67-0201

新しく着任された先生のご紹介

万倉小学校

校長 深田 秀郷
 教諭 山本 雅孝
 養護教諭 縄田 君代
 主事 石部 康恵
 非常勤講師 堀田 浩一
 給食調理員 安達 庸子

楠中学校

教頭 酒井 一嘉
 教諭 大庭 義徳
 教諭 青木 勇太郎
 教諭 中原 沙織
 養護教諭 佐々木 未歩
 事務職員 山田 杏樹
 学校支援員 塚本 啓一



ふれあいセンター職員異動のお知らせ

万倉ふれあいセンター 館長就任挨拶

おおたにゆいき

この度、4月1日付けで館長に就任しました大谷唯輝と申します。

前職は、宇部市交通局で40年間バスにかかわる仕事をしてきました。行政事務については、未熟者ではありますが、一日でも早く業務と皆さんの顔を覚え、微力ながら地域の皆様が気軽に立ち寄れるふれあいセンターを目指し、笑顔でお迎えできるよう努力してまいります。

どうぞよろしくお願いいたします。

これからお世話になります。

異動が決まった時、周囲から「万倉はとてもいいところ」「よかったね、うらやましい」などと言われ、自身たいへん喜んでおります。これまでもふれあいセンターで勤務してましたので、経験を活かすことはもちろん、前任者同様ご指導をお願いしたいです。

また、地域の方々との関係を大切に、多くのことを学び、貢献していこうと考えております。初心にかえり、一日も早く戦力となれるよう精進いたします。

よろしく願いいたします。

松永 英樹



なに？なに！！
 なんだこれ？！

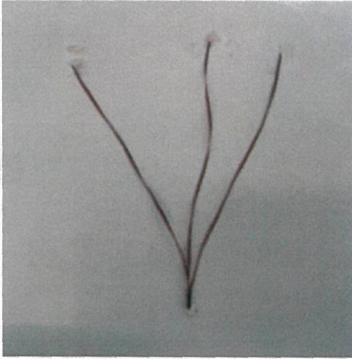
松の葉が3枚だ。普通は2葉束生。庭木では5葉もあるが、この木はすべてが3葉束生。宮尾八幡宮の境内に1対ある。

幹は、大人が両手を広げて抱いても、両手の先端が触れることが出来ない程大きい。

名前はダイオウマツ。北アメリカ原産、明治45年頃渡来。

日本では高さが30mを越すことはない(牧野植物図鑑)

万倉の地に大木があった！！誰が、どういうことで、植えた？



うめくさ【埋め草】原稿を募集しています。

うめくさ(埋め草)とは？

雑誌や新聞等において、スペースが余った際にそれを埋めるために使う短い記事・イラストなど。

万倉ふれあいセンター

万倉ものがたり

第41話

万倉ふるさと愛好会
須子正実

11、明治時代と万倉

(2) 世に輝やいた人達

江戸時代から明治時代にかけて、各界で活躍した人達の中から、熊野氏と柏村氏についてものがたる。

①熊野氏

沖田橋東端の県道30号線37号線の交差点から、30号線を約300m吉部方面に進んだ所の東右手の山際に、高さ1mの白い石碑がある。碑文は長年の風化により刻字が浅く、漢文調で判読しにくい。概略を述べる。

養浩先生 碑

先生の名前は、熊野林仙養浩齋と申す。医師として国司氏に仕える。家は長州厚狭郡万倉に在って、性温厚にして実直であった。上京して幅広く医術を修め、学成って帰郷し開業する。遠くからの患者も多く、足の踏み場もない程であった。文政7年3月若くして没す。45歳であった。

堀田 謙 謹撰
(謹んでさし上げる)



熊野林仙養浩齋の碑 (下矢矯)

熊野氏は島根県出身で、国司就正の徳地方面からの領地替えに伴い万倉に来たといわれている(1625年)。2代信順は医師として国司氏に仕えた。以後、3代から8代まで軍医や病院長等医師として活躍した。

冒頭の石碑は、5代林仙が主人公と推察される。林仙は京都に上り、漢方・蘭方の医学の奥義を究め、万倉に帰って地域医療に尽力した。林仙は開業後も県内外の好学の有志を集め、医学の研さんに励んだ。当時は、痘科(天然痘)の患者が多く、治療に手を尽くしたという。日本では、現在ほとんど天然痘の患者は見られないが、明治41年には過去最大級の罹患者があったといわれている。

熊野家の屋敷は、下矢矯の旧道沿いにあった。石碑が立っている側に細い道らしいものがある。この道は、下矢矯地区と厚東立熊地区を結ぶ古道である。当時の人々の中には、この道を通り、治療を求めて行き来していた者もいたという。

大正時代、矢矯地区に大火があった。その際の飛び火で熊野家は全焼し、古文書も焼失した。当時、熊野氏宅は医師真鍋総次郎氏が借りて開業していた。その後、真鍋氏は口ノ坪の旧万倉村役場付近で、宿泊可能な大きな家を新築して開業した。

上矢矯の内川大明神の拝殿祭壇には、『昭和10年春・熊野タミ本殿再建記念』の銘がある手鏡が供えてある。熊野氏は内川大明神を深く信仰し、同社の再建にも深く関わっていたものであろう。

(次回は、柏村氏)

※主に参考にした資料 ・地元の方々にといろいろと御教示頂いた。深謝する。
・くすのき文化4号

5・6月 家庭ごみ収集日

- ◆燃やせるゴミ・・・毎週 月・水・金
- ◆プラスチック製容器包装ゴミ・・・毎週火曜日
- ◆古紙の日 ... 5 / 7(木)・6 / 4(木)
- ◆燃やせないゴミの日 ... 5 / 14(木)・6 / 11(木)

移動図書館車(あおぞら号)が再びやってきます!!

あおぞら号(移動図書館)

5月7・21日(木) 14:00~14:20

6月4・18日(木) 14:00~14:20

万倉ふれあいセンター



5月・6月 し尿収集日

5月27日・6月24日	神元、国近、栄町、口ノ坪、沖田
5月28日・6月25日	宮尾、福間、伏付、宗方、後河内
5月29日・6月26日	上矢矯、下矢矯、浅地、土井沼田ヶ原、岩滝、小河内
— ・6月1・29日	芦河内、正楽寺
— ・6月2・30日	伊佐地、棕並、中ノ浴、大河内黒五郎
5月1日・6月3日	柏ノ木、今富、白椎ノ木、二ツ道祖

編集後記

「ご心配です。」ここ数年、よく交わす挨拶となりました。「心配」は気にかけて悩むことという意味の他に世話をするとという意味もあります。年々、地域の役を引き受けることが増え、「ご心配」と言われることが多くなり、自分でも言うようになりました。そこで気付くのが暮らしていく上で、地域の多くの人の「ご心配」で支えられているということですね。このなすの花も多くの人の「ご心配」により届けられていることに感謝いたします。



編集委員会